

令和7年度 学校関係者評価（前期）

中津市立豊田小学校

1 学校の教育目標

ことばを大事にし、いつでもどこでもだれとでも高め合う豊田っ子を育てよう！

2 育成を目指す資質・能力

コミュニケーション能力

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評価判断基準
A …達成率90～100%
B …達成率70～ 89%
C …達成率60～ 69%
D …達成率60%未満

生きて働く知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力の育成

学びに向かう力、人間性等の涵養

働き方改革の推進

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	評価	◇〔成果と課題〕、及び ★〔次期（次年度）に向けての（取組）〕
基礎・基本を着実に身につける 子どもの育成	①国語・算数の単元テスト【知・技】の平均80点以上 ②『児童アンケート』の重点的取組に関する項目でA評価65%以上 ③「市学力状況調査」、国語、算数の知識領域で全国値超え60%以上	学校	◆主体的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化	◆算数を中心に、「めあて・課題・まとめ・振り返り」、「キーワード」を位置づけ、基礎基本を伸ばすために子どもが自分の考えを持てるような見通しの工夫をする	B	◇保護者や地域には「め」「か」「ま」「ふ」カードの意味がわからない。保護者や地域に学習指導のスタイルや工夫を理解してもらうことが大切である。 ◇全国や県の学力調査を全教員で解いて学力向上に活かす取組は素晴らしい。 ★「自分で考える力」を伸ばす取組を継続して欲しい。
			◆「とよだのきまり」を守る意識の育成	◆【1学期】 「ろうかや階段を静かに歩く」を徹底させるため、学級指導と合わせて、他学年の児童でも必ず声をかける	B	★ろう下を走る児童を見かけなくなってきたが、安心・安全な学校を目指すのであれば、今後も「ろう下や階段を静かに歩く」ことが出来るように、指導の徹底や工夫をおこなって欲しい。
		家庭	◆学校と連携した家庭学習習慣の定着	◆ノースクリンタイムを実施する ※家庭学習カードで家庭学習の取組状況を学期始め・終わりにチェックし、ほめたり、励ましたりする	D	◇家庭との連携、大変ですが頑張ってください。 ★ノースクリンタイムは継続しつつ、家庭学習習慣の定着に向けて家庭で取り組めることを明らかにしていく。
		地域				
相手や状況を考え、思いを伝え合う 子どもの育成	④国語・算数の単元テスト【思～表】の平均70点以上 ⑤『児童アンケート』の重点的取組に関する項目でA評価60%以上 ⑥「市学力状況調査」、国語、算数の活用領域で全国値超え60%以上	学校	◆協働的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化	◆聞き方「あいうえお」話し方「かきくけこ」を意識させた「ぶらぶらタイム」、「グループ（ペア）学び」の場を毎時間設定する	B	★学校が目指す「コミュニケーション能力の育成」のために取組指標をしっかりと実施して欲しい。
			◆相手を思いやる気持ちの育成	【1学期】 ◆あいさつの大切さ（意義）を適宜指導する ◆「先手あいさつ、あいさつ返し」の取組状況を帰りの会で振り返らせる	C	◇「先手あいさつ」は素晴らしい取組。身につくと良いですね！ ★保護者にとっても「場に応じた言葉遣い」は気になるところであるので、学校で言葉遣いの指導を徹底して欲しい。家庭でも声掛けしていきたい。
		家庭	◆家庭・地域でのあいさつの推進	◆家庭・地域でのあいさつを声かけし、あいさつができた場合はほめる	B	★家庭でも地域でもあいさつを進んで取り組みたい。
		地域	◆各教科、生活科、総合的な学習の時間等への学習支援の推進	◆スクスクプロジェクトの計画や学校の要請に応じて、学習支援に参加する	A	◇ゲストティーチャーへの「お礼の手紙」にいつも感激させられている。 ★学校と地域の「つながり」をもっと深めていきたい。
共に学び、誰とでも共に行動できる 子どもの育成	⑦『児童アンケート』で「めあてを持って学習した」「調べ学習ができた」等に関する項目でA評価60%以上 ⑧『児童アンケート』で「みんなと一緒に学習して楽しかった」など協働的な学びに関する項目でA評価60%以上	学校	◆生活科・総合的な学習の時間を中心にした協働的な学びの推進	◆生活科・総合的な学習の時間を中心に、互いの考えを伝え合う場を適宜設定する	B	★自分の考えを伝え合うことは良い取組だと思うので継続して児童の考える力や話す力をさらに高めて欲しい。
			◆自己の取組状況や変容を実感させる場の保障	◆無言清掃や人間関係づくりプログラムの後に取組状況を振り返らせる	B	★取組の徹底をお願いしたい。
		家庭				
		地域	◆地域（生活、歴史、文化、課題等）の伝承の推進	◆ゲストティーチャー等で児童との関わりがある場面では積極的に地域や地域に関連する情報を伝える	A	★機会がある時に適宜、地域や地域に関する情報を伝えていきたいと思う。
MSGの徹底	⑨校務にかかる時間が確保できた70%以上 ⑩定時退庁日が完全実施できた80%以上 ⑪『学校アンケート』で「支援できた（地域、家庭）」70%以上	学校	◆校務分掌や会議、行事の見直し、改善	◆随時、状況（分掌業務、時間配分、議題等）を検証し、分掌業務、会議等を効率的に実施する ◆行事毎に振り返りを行う（改善Ver.の保存等）	B	◇見直し、改善の実践が出来ていると思う。 ★児童にとっても有益な取組となるような働き方改革を進めて下さい。
			◆定時退庁日（金曜日）の完全実施	◆タイムマネジメント（優先順位や曜日等）を実施する ◆毎週の定時退庁日に声をかけあう	B	◇定時退庁日の設定はとても良いと思う。実行に期待！ ★改善策によって定時退庁が実現することは大事であるが、児童の学力保障の視点も十分に考慮していただきたい。
		家庭・地域	◆学校の教育活動、児童の安心・安全、環境整備の支援	◆学校運営協議会のもと、地域（スクスクプロジェクト）、家庭（PTA）が協働し、学校の支援体制を整備しながら、支援活動を実施する	B	◇プール、下校時の見守り、暑い中をご苦労様です。 ◇自分自身はあまり協力でできてはいないが体制はしっかりしていると思う。 ★プール見守りのように、今後も地域、家庭が協働して学校への支援活動を充実を目指していきたい。